

国際シンポジウム

2015年5月19日

漱石の現代性を語る—歿後100年、生誕150年を前に—

International Symposium

Discussing the Modernity of Sōseki:

100 Years After His Death and 150 Years Before His Birth

<総合司会> 鳥羽耕史 (早稲田大学文学学術院教授)

開会の挨拶 越川房子 (早稲田大学文学学術院長)

第1部 漱石へのアプローチ

漱石とロシアの世紀末文学—「それから」の周辺— 源貴志 (早稲田大学文学学術院教授)

漱石の科学への関心 小山慶太 (早稲田大学社会科学総合学術院教授)

第2部 国際シンポジウム 「明暗」の言語宇宙

「明暗」における会話の勾配 エマニュエル・ロズラン (フランス・国立東洋言語文化大学教授)

定住者と、落ちていく者と—「明暗」における小林登場の意味— 朴裕河 (韓国・世宗大学校教授)

気配と遭遇 蜂飼耳 (詩人)

「探りを入れること」—『明暗』の書き出しから— 堀江敏幸 (作家・早稲田大学文学学術院教授)

パネルディスカッション

<パネリスト> エマニュエル・ロズラン／朴裕河／堀江敏幸／蜂飼耳／源貴志／小山慶太

<司会> 中島国彦 (早稲田大学文学学術院教授)

閉会の挨拶 益田朋幸 (早稲田大学総合人文科学研究センター所長)